

中国

主要データ

国名〔英名〕	中華人民共和国 [People' s Republic of China]
面積 (km ²)	9, 596, 960
海岸線延長 (km)	14, 500
人口 (百万人)	1, 384. 7
人口密度 (人/km ²)	144. 3
GDP (bUS\$)	12, 010. 00
一人当り GDP (US\$)	8, 673. 43
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、錫、レアアース
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム、錫
鉱業管轄官庁	自然資源部、工業信息化部、国家発展改革委員会
鉱業関連政府機関	中国鉱業連合会、中国有色金属工業協会、中国稀土産業協会
鉱業法	鉱産資源法（2009年改定） 鉱産資源法実施細則（1994年施行）
ロイヤルティ	なし
外資法	中華人民共和国会社法（2013年改定） 中華人民共和国会社登記管理条例（2006年施行） 外商投資商業分野管理弁法（2004年施行） 中華人民共和国外商投資鉱産勘査企業管理弁法（2008年施行） 外商投資産業指導目録（2015年改定）
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境保護法（2015年1月改正） 非金属業界におけるグリーン鉱山建設規範（2018年10月施行）
鉱業公社・民間企業	国有中央企業：中国アルミ業 (Chinalco)、中国五鉱集団 (Minmetals)、中国冶金科工集団 (MCC) など
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい固定廃棄物輸入基準を発表 ・ 国内初の非鉄業界汚染排出許可証を発行 ・ 財政部、国土資源部、「鉱業権譲渡収益徴収管理の暫定弁法」を発表
2018年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織改変により自然資源部(旧国土資源部)が正式に設立 ・ 鉄鉱石分野で先物取引に海外投資者を導入 ・ 貴州東部において初の超大規模マンガン鉱床の探査が進展 ・ 紫金鉱業、セルビア国有銅業会社を買収 ・ 兗州炭鉱豪州会社が香港で上場し、国内で唯一、豪州と香港で上場を実現した企業 ・ 「黄金産業におけるシアン残渣汚染規制技術基準」を発表

1. 鉱業一般概況

自然資源部が作成した「中国鉱産資源報告 2019」によると、2018 年末までに国内において、合計で 173 種の鉱物資源が発見された。また、埋蔵量を確定した鉱物資源については、建国以来、10 数種から 162 種まで増え、多種多様な鉱物資源が豊富な国である。

2018 年は国内主要鉱物資源のうち 37 種の確定埋蔵量が増え、11 種の確定埋蔵量は減少した。石炭、

世界の鉱業の趨勢 2019

銅などの非石油・天然ガス鉱物資源の確定資源埋蔵量は継続的に増え続けている。2018年に中国国内で新規発見された鉱床地域は153カ所であり、国内の非石油・天然ガス鉱物資源のポテンシャルの大きさを示している。2018年末、国内において固体鉱物資源28種を特定しており、そのうち26.0%の資源量は地下2,000m以浅に賦存すると見込まれている。

2018年の10分野における非鉄金属の総生産は前年比6.02%増の5,687.94万tで、伸び率は2017年より3.1ポイント増加した。鉱種別に見ると、精製銅、アルミニウム、鉛、ニッケル、錫、アンチモン、スポンジチタン及び水銀の8種の生産量は前年比で増加し、亜鉛とマグネシウムの生産量は対前年比で減少した。主要な非鉄金属鉱山の生産量は減少した中で、酸化アルミニウム生産量は安定的に増加した。2018年の非鉄金属分野における貿易の輸出入全体は比較的急成長しており、中米貿易摩擦の影響を受けているにもかかわらず、国内非鉄金属の輸出への影響は見せていない。2018年の中国の非鉄金属輸出入貿易総額は対前年比19.1%増の1,60.53bUS\$であった。そのうち輸入額は対前年比18.3%増の115.16bUS\$、輸出額は対前年比21.1%増の45.37bUS\$であった。

なお、非鉄金属業界において供給サイドの構造改革を継続的に実施したため、生産全体は安定的に増加しているが、非鉄金属企業における収入額の伸び率は反落し、利益は低下し続けている。

2. 鉱業政策の主な動き

2-1. 鉱業政策全般

2018年以降、中国政府は「鉱産資源法」の改訂を続け、鉱物資源分野における審査認可制度の改革を推し進め、一連の行政承認事項を取り消したほか、一部の権限を委任することとし、積極的に自然資源資産の財産権制度の改革を続けており、鉱物資源の管理体制及び資源税の改革を継続的に実施している。

2019年は鉱業権の譲渡にあたり、公開入札による競争を全面的に推し進め、個別契約による譲渡を厳しく取り締まることとしている。これにより、鉱業権者の正当な権益を確保し、国内外にある各種市場を平等に取り扱うようにする。自然資源部は、2019年中に一連の鉱物資源行政審査認可制度及びそのプロセスを改善するほか、探査開発市場を秩序的に拡大し、中央政府と地方政府における鉱業権審査認可権限等、価格措置に対する重要な見直しを行い、法律に基づいて企業による鉱物資源探査の開発バックアップシステムを完備させ、鉱物資源埋蔵量に対する評価審査・登記作業を統合させることとしている。そのほか、鉱物資源埋蔵量に対する定期的調査評価制度を築き、鉱業分野による土地または海洋利用の保障を強化させ、鉱山企業または社会的資金によるリスク探査を奨励する。

2-2. 生産・採掘に関する規制等

(1) 自然資源部(旧国土資源部)は、2016年11月に「全国鉱産資源計画(2016-2020年)」を公表し、国内の重要な銅の鉱区、エネルギー資源基地、国家計画鉱区及び国民経済に重要な価値を持つ鉱区を指定した。

世界の鉱業の趨勢 2019

鉱山名	親会社	住所	製錬所 有無	採掘方法	生産能力 (単位：金属万 t/年)
徳興銅鉱山	江西銅業	江西省徳興市	有	露天掘り	15.495
烏奴格吐山銅モリブデン鉱山	中国黄金	内モンゴル新巴尔虎右旗	有	露天掘り	6.97
金川銅・ニッケル鉱山	金川	甘肅省金昌市	有	露天掘り/ 坑内掘り	6.0
雄村銅鉱山	金川	チベットシガツェ謝通門県	有	露天掘り	6.0
甲瑪銅鉱山	中国黄金	チベットラサ市墨竹工卡県	有	露天掘り	6.0
普朗銅鉱山	中国アルミ、 雲南銅業	雲南省シャングリラ	有	坑内掘り	5.0
冬瓜山銅鉱山	銅陵有色	安徽省銅陵市	有	坑内掘り	3.359
阿什勒銅鉱山	紫金	新疆哈巴河県	有	N/A	3.3
銅鉱峪鉱業	中条山	山西省運城市	有	坑内掘り	2.96
德尔尼銅鉱山	紫金	青海省瑪沁県	有	露天掘り	2.6
多宝山銅鉱山	紫金	黒龍江省黒河市嫩江県	有	露天掘り	2.525
雲南大紅山銅業	雲南銅業	雲南省玉溪市	有	坑内掘り	2.256

<国家計画鉱区>

中央政府が建設計画及び鉱産資源計画に基づき、大規模や中規模の鉱山のために画定した鉱産資源分布地域。

鉱種	名称	所在地
ニッケル・銅・コバルト	白家嘴銅ニッケル鉱区	甘肅金昌市
	大宝山銅多金属鉱区	広東韶関市
	紫金山銅金鉱区	福建上杭県
	徳興銅鉱区	江西徳興市
	城門山銅鉱区	江西九江県
	大紅山銅鉱区	雲南新平県
	普朗銅鉱区	雲南迪慶州
	駆龍銅鉱区	チベットラサ市
	玉龍銅鉱区	チベット昌都市

<国民経済に重要な価値を持つ鉱区>

中央政府が国民経済の成長需要に基づき画定した地域で、国の建設計画に組み入れず、埋蔵量も多

世界の鉱業の趨勢 2019

く、品質が良く、且つ、開発見通しのある鉱物資源保護地域。

鉱種	名称	所在地
銅・多金属	峡山・岩山銅鉱区	安徽池洲市
	大碑銅鉱区	江西彭澤県
	河西銀銅多金属鉱区	雲南蘭坪県
	多龍銅鉱区	チベット阿里地区
	堆龍徳慶県松多握銅モリブデン鉱区	チベット堆龍徳慶県

<エネルギー資源基地>

安徽銅陵・蕪湖、江西徳興・九江、内モンゴル・フルンボイル、山西候馬・垣曲、滇西北、チベット駆龍、チベット玉龍で合計資源基地7か所。

(2) 「国家IoT発展及び希土産業補助資金管理方法」：中国財政部・工業情報化部

IoT業界及びレアアース産業発展への支援を目的に、関連プロジェクトに対する補助金を拡大し、プロジェクト投資総額の30%及び40%に設定した。主に、レアアース資源採掘の監督管理、レアアース採掘選鉱・製錬・環境保護技術の改善、レアアース重要技術及び基準の研究開発、レアアースハイレベル実用技術の研究開発と産業化、共同技術サービスプラットフォームの建設等の五つの分野を対象としている。本支援資金獲得のためには、正式な営業資格及び関連資質証明を取得し、「レアアース産業への参入許可条件」の要求及び環境保護要求に適合しなければならない。この政策は長期的にみると、レアアース資源生産地の保護と効果的利用を促進でき、技術改善、エネルギーの節約及び環境の保全に資することとなる。

(3) 「外国企業投資産業指導目録」：国家発展改革委員会・商務部

希土類硫化セリウム赤色染料を「外国企業投資産業指導目録」の奨励対象に取り入れ、レアアース製錬分離を制限に取り入れ、レアアース探査、採掘、選鉱等の禁止を取り入れている。

(4) 「鉱業権譲渡収益徴収管理の暫定弁法」：財政部・中国国土資源部

新規に取得した鉱業権を譲渡する場合、鉱業権者は「暫定弁法」に基づき鉱業権の譲渡収益金を納めなければならない。取得した探査権や採掘権の代金をこれまで納付していなかった場合、その代金を鉱業権譲渡収益科目に導入し、一定の割合でシェアする。先願方式で探査権を取得し、その後採掘権に変更した鉱業権の場合、有料で売却した権利に対し採掘権の譲渡収益は納付しない。有料で譲渡しなかった権利については、その資源量・埋蔵量に対し協議譲渡方式で採掘権譲渡収益を納付しなければならない。探査権から採掘権に変更していない場合、採掘権を新たに取得する際、協議譲渡方式で採掘権譲渡収益を納付しなければならない。

2-3. 輸出入に関する規制等

(1) 輸入に関する規制制度：商務部、税関総署

- 「2018年貨物輸入許可証発給目録の公布」についての公告（2018年1月1日より実施）

世界の鉱業の趨勢 2019

- 「2018年輸入許可証管理貨物目録の公布」(2018年1月1日より実施)
- 税関総署公告(2018年第48号)「原料として使用可能な輸入制限類固体廃棄物輸送前検査監督管理実施細則」(2018年5月28日公布)
- 税関総署公告(2018年第57号)「原料として使用可能な輸入制限類固体廃棄物中国国内届け先登録管理実施細則」(2018年6月15日公布)
- 税関総署公告(2018年第91号)「原料として使用可能な輸入固体廃棄物の海外サプライヤーの登録管理実施細則」(2018年8月1日より実施)
- 税関総署公告(2018年第134号)「一部鉱石製品の輸入管理方法の調整に関する公告」(2018年10月19日より実施)
- 「輸入廃棄物管理目録の調整に関する公告」(2019年7月1日より実施)

(2) 輸出制限：商務部、税関総署

商務部・税関総署「2018年第4号」国連安全保障理事会の2397号決定の執行について」(2018年1月6日より実施)により、鉄・鋼及びその他の金属・工業機械・運送車両は北朝鮮への輸出が禁止された。

輸出制限管理の主な管理措置は、輸出割当管理と輸出許可証管理である。数量制限のない輸出制限品目に対し、輸出許可証管理を実施とする。毎年「輸出許可証管理貨物目録」が公布され、それぞれの対象品目が定められる。

2-4. 備蓄

国家備蓄制度：國務院、国家發展改革委員会国家物資備蓄局

1953年に制度化された国家備蓄であるが、実際の備蓄は2000年代後半より進められている。2015年には、タングステン、マグネシウム及びレアアースについて、国家備蓄用の買い入れが実施されたことが報道されている。

2-5. その他の政策

2018年

1月：國務院弁公庁、「環境保護税法」を発表

國務院弁公庁、「水污染防治対策法」を発表

國務院弁公庁、「生態環境損害賠償制度改革計画案」を発表

国家海洋局、「深海海底地域における資源探査開発サンプル管理暫時方法に関する通達」を発表

3月：自然資源部、「鉱業権申請資料の更なる規範化に関する通達」を発表

8月：國務院弁公庁、「土壌污染防治対策法」を発表

12月：自然資源部、「レアアース、タングステンの鉱業権審査認可管理の規範化に関する通達」を発表

世界の鉱業の趨勢 2019
3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向
(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量（純分）

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	1,850.7	1,656.4	1,506.6	-9.0	7.3	3
鉛	2,337.5	2,331.7	2,915.6	25.0	54.0	1
亜鉛	4,710.5	4,997.0	4,192.7	-16.1	32.1	1
ニッケル	100.2	94.4	99.0	4.9	4.1	7
錫	97.2	93.4	157.5	68.6	41.5	1
ボーキサイト	66,157.7	69,017.0	69,017.0	0.0	21.4	2
アンチモン	108.0	97.7	89.6	-8.3	70.7	1
ビスマス	1.7	1.7	1.7	0.0	64.1	1
マンガン	25,000.0	25,000.0	27,083.4	-24.7	39.2	1
モリブデン	129.2	132.0	99.4	0.0	36.5	1
チタン	75.0	75.0	75.0	-11.1	1.8	14
タングステン	71.0	85.0	75.6	-0.2	78.8	1
ウラン	1.6	1.7	1.7	-40.4	3.1	8
鉄鉱石（百万t）	1,381.3	1,280.9	763.4	-7.4	37.9	1
金（t）	453.5	420.5	389.3	0.0	11.7	1

出典：World Metal Statistics Yearbook 2019

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	8,436.3	8,889.5	8,949.5	0.7	37.7	1
鉛	4,603.9	4,716.0	5,112.8	8.4	43.0	1
亜鉛	6,196.0	6,219.0	5,681.1	-8.6	42.4	1
ニッケル	437.0	621.0	747.9	20.4	33.0	1
錫	182.7	182.2	177.7	-2.4	48.3	1
アルミニウム	32,818.1	32,273.0	33,586.6	4.1	56.3	1
マグネシウム	910.3	1,022.0	863.0	-15.6	84.7	-
セレン（t）	772.0	814.0	819	0.6	21.2	1
テルル（t）	7.0	7.0	7.0	0.0	0.9	8

出典：World Metal Statistics Yearbook 2019

(3) 主要金属地金消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	11,642.2	11,790.5	12,482.3	5.9	52.5	1
鉛	4,593.4	4,794.6	5,235.2	9.2	42.9	1

世界の鉱業の趨勢 2019

亜鉛	6,515.2	6,964.7	6,179.3	-11.3	46.4	1
ニッケル	897.7	982.0	1,074.3	9.4	49.3	1
錫	191.4	183.4	174.2	-5.0	45.8	1
アルミニウム	32,562.8	31,908.0	33,304.4	4.4	55.0	1
コバルト	45.0	69.6	78.4	12.6	63.1	1

出典：World Metal Statistics Yearbook 2019

(4) 主要金属輸出量

表 3-4. 主要金属輸出量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
銅地金	425.6	338.1	281.6	-16.7	台湾、ベトナム、マレーシア
鉛地金	15.4	7.6	26.1	245.0	台湾、インドネシア、マレーシア
亜鉛地金	21.4	14.8	22.0	48.7	台湾、インドネシア、ベトナム
ニッケル 地金	8.4	18.4	14.2	-23.0	インド、日本、香港
フェロニッケル	2.0	2.2	3.8	67.7	インドネシア、インド、フランス
錫地金	0.7	2.2	6.1	179.4	香港、マレーシア、日本
アルミニウム地金	511.7	551.2	562.4	2.0	台湾、シンガポール、日本

出典：World Metal Statistics Yearbook 2019, World Metal Statistics April 2019, International Trade Centre

(5) 主要金属輸入量

表 3-5. 主要金属輸入量

鉱種	2016年 (千t)	2017年 (千t)	2018年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸入相手国
銅 鉱石	17,051.8	17,333.4	19,739.3	13.9	チリ、ペルー、モンゴル
地金	3,629.3	3,243.0	3,753.0	15.7	チリ、ロシア、カザフスタン
鉛 鉱石	1,419.5	1,292.4	1,231.7	-4.7	ロシア、米国、ペルー
地金	5.0	86.2	148.5	72.3	豪州、台湾、日本
亜鉛 鉱石	2,007.3	2,444.0	2,976.7	21.8	豪州、ペルー、ロシア
地金	424.4	676.3	715.4	5.8	カザフスタン、豪州、韓国
ニッケル 鉱石	31,909.0	35,045.8	46,964.1	34.0	フィリピン、インドネシア、ニューカレドニア
地金	362.3	235.4	212.1	-9.9	ロシア、豪州、カナダ

世界の鉱業の趨勢 2019

フェロニッケル	1,042.1	1,386.0	960.6	-30.7	インドネシア、コロンビア、 ミャンマー
錫					
鉱石	474.6	295.5	221.8	-24.9	ミャンマー、豪州
地金	9.5	3.4	2.5	-25.0	インドネシア、マレーシア、 タイ
アルミニウム					
ボーキサイト	52,053.4	68,763.0	82,721.7	20.3	ギニア、豪州、インドネシア
アルミナ	3,059.9	2,903.7	550.6	-81.0	豪州、日本、ドイツ
地金	256.5	186.2	199.3	7.1	ロシア、サウジアラビア、台湾
アンチモン鉱石	58.4	73.7	92.6	25.8	ロシア、ミャンマー
モリブデン鉱石	14.6	19.6	14.6	-25.6	ペルー、モンゴル、米国
鉄鉱石（百万t）	1,024.7	1,075.4	1,064.6	-1.0	豪州、ブラジル、南アフリカ

出典：World Metal Statistics Yearbook 2018, World Metal Statistics April 2019,
International Trade Centre

4. 探鉱状況

2018年未までに、中国国内で173種の鉱物資源が発見され、そのうちエネルギー鉱物が13種、金属鉱物が59種、非金属鉱物が95種、水・ガス鉱物が6種である。特に、天然ガス、銅、ニッケル、タングステン、白金族、リチウム、蛍石などは確定埋蔵量も急速に増加している。2018年の国内の地質探査への投資額は81.03b円で2017年と比べ3.5%増加した。そのうち金属鉱物資源探査への投資額は17.37b円（前年比12.4%減）であった。資金供給源から見ると、金属鉱物資源探査への投資で中央財政による支出は5.83b円（前年比0.6%減）、地方財政による支出は5.38b円（前年比20.3%減）、社会的資金による支出は6.17b円（前年比14.7%減）であった。新規に発見された固体鉱物の大規模鉱床は153カ所で、そのうち大規模が51カ所、中規模が57カ所、小規模が45カ所である。

表4-1. 2018年に新たに増加した主要鉱種の確定埋蔵量

鉱種	単位	埋蔵量		鉱種	単位	埋蔵量	
		2017末 確定 埋蔵量	2018年 新規 増加量			2017末 確定 埋蔵量	2018年 新規 増加量
石炭	億t	16,666.73	556.10	アンチモン	(金属)万t	319.76	18.70
石油	億t	35.42	9.59	金	(金属)t	13,195.56	719.80
天然ガス	億m ³	55,220.96	8,311.57	銀	(金属)万t	31.60	1.20
シェールガス	億m ³	1,982.88	1,246.78	硫化鉄鉱	(鉱石)億t	60.60	14,450.2
鉄鉱石	(鉱石)億t	848.88	9.93	リン	(鉱石)億t	252.84	2.25
銅	(金属)万t	10,607.75	225.10	カリ塩	(鉱石)億t	10.27	-
鉛	(金属)万t	8,967.00	371.60	タングステン	(WO ₃)万t	1,030.42	27.80
亜鉛	(金属)万t	18,493.85	575.90	錫	(金属)万t	450.04	16.70

ポーキサイト	(鉱石)億 t	50.89	1.16	モリブデン	(金属)万 t	3,006.78	28.20
--------	---------	-------	------	-------	---------	----------	-------

注：石油・天然ガスは地質埋蔵量

出典：「2019年中国鉱産資源報告」

表 4-2. 2018 年に報道された主な新鉱床

時期	場所	事業者	鉱種	埋蔵量
2018年5月	新疆哈爾達坂—托克賽西天山	新疆有色地質探査局地質鉱産探査研究院	鉛亜鉛	105万t金属量
2018年6月	長江源沱沱河地域	青海省地質鉱産局	鉛亜鉛銀	鉛 489.29万t 亜鉛 131.33万t 銀 2,039t
2018年7月	貴州省赫章県	貴州地質鉱産局 113 地質隊	鉛亜鉛	275.82万t
2018年8月	内モンゴル自治区克什克騰旗	内モンゴル地質探査有限責任公司	リチウム、錫、亜鉛	酸化リチウム 35.72万t 錫 5.77万t 亜鉛 4.85万t
2018年9月	甘肅省徽県郭家溝	甘肅省有色金属地質探査局天水鉱産探査院	鉛亜鉛	鉱石量 6,502.32万t
2018年9月	内モンゴル自治区双尖子山	有色金属鉱産地質調査センター	銀、鉛亜鉛	鉱石量 15,897.87万t
2018年10月	江西省横峰県松樹鉱区	江西有色地質鉱産探査開発院	タンタル、ニオブ	鉱石量 298,604千t
2018年11月	河南省偃龍地域	河南省地質鉱産局第4地質探査院	ポーキサイト	資源量 24,924万t
2018年11月	安徽皖江地域	安徽省地質探査局 322 地質隊	ポーフィリ一型銅	銅 金属量 66万t 随伴共生 金 84t

(中国地質探査網各種報道より JOGMEC 作成)

5. 我が国との関係

レアメタルやレアアースを中心に、我が国の産業上欠かすことのできない重要鉱物資源の輸入相手国として、中国が上位を占める鉱種が引き続き数多く存在する。特に、マグネシウム、タングステン、アンチモン、バナジウム、レアアース等は、我が国の輸入の大部分を中国に依存している。また、銅地金、フェロニッケルなど精錬加工製品を中心に、我が国の輸出相手国として中国が上位を占める鉱種・品目も数多く、我が国の非鉄金属の貿易相手とし引き続き大きな地位を占めている。世界需要の半分近くを占める中国の生産、消費や政策の動向が世界の非鉄金属市場に与える影響は極めて大きく、我が国産業界にとって中国市場の動向把握が必須となっている。

表 5. 日本への精鉱及び地金輸出量

鉱種	2016年 (t)	2017年 (t)	2018年 (t)	対前年増減比 (%)
銅				
地金	3,425.1	2,643.4	8,347.7	215.8
マット	-	-	18.1	-
亜鉛地金	28.0	2.4	2.0	-16.7
金	0.1	0.2	0.2	-23.3
錫地金	80.0	507.9	180.4	-64.5
鉄鉱石	79.0	90,752.0	138,427.0	52.5
アルミニウム				
ボーキサイト	32,382.0	35,836.0	35,031.0	-2.2
地金	802.3	2,072.9	1,618.0	-21.9
マンガン				
鉱石	146.0	152.0	60.0	-60.5
地金	69,376.9	77,127.7	70,971.1	-8.0
フェロマンガン	2.0	101.2	3.0	-97.0
フェロシリコマンガン	-	499.5	-	-
ニッケル				
地金	-	-	25.0	-
酸化ニッケル	17.0	56.3	126.5	124.7
クロム				
鉱石	96.0	40.0	60.0	50.0
地金	794.2	1,340.0	1,997.3	49.1
フェロクロム	8,603.6	5,094.2	5,406.4	6.1
タングステン				
地金	202.8	221.5	590.6	166.7
APT	832.7	1,415.0	1,342.0	-5.2
化合物	3,017.6	3,273.2	3,622.6	10.7
フェロタングステン	537.5	927.9	775.3	-16.4
コバルト地金	175.3	284.8	418.5	46.9
モリブデン				
鉱石	17.0	-	-	-
地金	243.7	375.2	290.7	-22.5
化合物	2,938.1	1,950.2	1,833.9	-6.0
フェロモリブデン	411.5	428.0	209.9	-50.9
アンチモン				
地金	3,997.1	3,704.7	3,604.3	-2.7
化合物	3,627.0	4,188.1	3,458.8	-17.4

チタン				
鉱石	200.0	3,240.0	6,864.0	111.9
地金	117.3	70.0	28.7	-59.0
バナジウム				
地金	21.6	11.2	9.1	-18.6
化合物	706.1	780.0	880.0	12.8
フェロバナジウム	1,321.9	1,445.0	1,754.6	21.4
ジルコニウム				
鉱石	2.0	12.0	8.0	-33.3
地金	4.3	3.7	4.7	27.2
化合物	2,492.1	3,027.2	4,996.6	65.1
マグネシウム地金	29,775.7	32,365.8	26,330.7	-18.6
希土類				
希土類原料・製品	3,485.0	3,735.3	4,233.4	13.3
化合物	10,590.9	12,426.6	13,050.1	5.0
リチウム				
地金	79.7	73.4	64.9	-11.5
化合物	4,160.0	12,914.6	18,258.5	41.4
タンタル地金	12.8	8.5	7.7	-9.1
プラチナ地金	0.3	0.8	-	-
インジウム地金	50.2	80.2	113.3	41.2
フェロニオブ	12.0	6.0	15.0	150.0
リン鉱石	49,441.0	71,148.0	73,238.0	2.9

出典：財務省貿易統計

6. その他トピックス

2019年8月、第13期全人代常務委員会第12回会議にて「資源税法」が正式に採択された。2020年9月より施行される。資源税は、1984年に設定された中華人民共和国資源暫定条例より徴収され始め、改革改善を経て安定的に実行されている。現行制度の方向性や租税負担水準を保ちつつ、社会経済成長や改革に適合しない項目について見直しが行われたものである。

(2019.10.30 北京事務所 塚田裕之)